項目							旧【土木工事施工管理基準	平成	29年	三12月	]		491 III 7/3 XI						新【	土木工事施工管理基準 平原	成30年	三3月23日	日通知】	
出来形管理基 準及び規格値	出来	平形管	理基	準値	及び	規格	值							出	来形	管理	基準値	直及び	規格	值				
P. 2-12	編	章	: 質	5	条	枝番	工 種		測;	定項	[ 目		規格値	ń	編	章	節	条	枝番	工 種		測定功	頁目	規 格 値
	3 ±	2	. 3		4		矢板工 [指定仮設・任意仮設 は除く]	1	志 注	進 高	i 7	7	±50		3 土	2	3 共	4		矢板工 [指定仮設・任意仮設 は除く]	1	甚 準	高 ▽	±50
	土木工事	船が加工	1000年				(鋼矢板)	村	艮	入	ł	旻	設計値以上		3 土木工事:	般施工	共通的工			(鋼矢板)	<b>†</b> .	县 入	長	設計値以上
	共通編		- 1 元	dia			(軽量鋼矢板) (コンクリート矢板) (広幅鋼矢板) (可とう鋼矢板)	3	変	位	ı	0	100	, and the second	#共通編	_	種			(軽量鋼矢板) (コンクリート矢板) (広幅鋼矢板) (可とう鋼矢板)	100	変 位	Q	±100
					5		縁石工 (縁石・アスカーブ)	<u>S</u>	Ē	長	]	L	-200					5		縁石工 (縁石・アスカーブ)	3	正 長	L	-200
					6		小型標識工	基礎	2 幅 高	高	w (		設計値以上 -30 -30				_	6		小型標識工	基礎	设置 高幅 高	さ H w (D) さ h	設計値以上 -30 -30
								,	根	入	れ	長	設計値以上									根入	. れ 長	設計値以上
					7		防止柵工 (立入防止柵) (転落(横断)防止柵) (車止めポスト)	基礎パ	j	幅 高 表 取付i	さ		-30 -30 +30 -20					7		防止柵工 (立入防止柵) (転落(横断)防止柵) (車止めポスト)	基礎パ	福高イプ取代	w さ h	-30 -30 +30 -20

項目							旧【土木工事施工管理基準	平成29年12月】							新【	土木工事施工管理基準 平	成30年3月23日通知】	
出来形管理基 準及び規格値	ļ	出来形	管理	基準	及び規	見格値				Н	出来形	管理基	<b>连</b> 準及	及び規	格値			
P. 2-114		編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値		編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値
		3 ±	2	10	5	5	土留・仮締切工 (中詰盛土)	基 準 高 ▽	-50		3 土		10 仮	5	5	土留・仮締切工 (中詰盛土)	基 準 高 ▽	-50
		3 土木工事共通編	般施工	仮設工							3土木工事共通編	般施工	仮設工			(平四筮工)		
					9		地中連続壁工 (壁式)	基 準 高 ▽	±50					9		地中連続壁工 (壁式)	基 準 高 ▽	±50
								連壁の長さ ℓ	-50								連壁の長さ 0	-50
								変 位	300								変 位	±300
								壁体長L	-200								壁体長L	-200
					10		地中連続壁工(柱列式)	基 準 高 ▽	±50					10		地中連続壁工(柱列式)	基 準 高 ▽	±50
								連壁の長さ ℓ	-50								連壁の長さ ℓ	-50
								変 位 d	D/4以内								変 位 d	D/4以内
								壁体長L	-200								壁体長L	-200

項目					Ī	日【土木工事加	施工管理基準	平成29年1	2月】	利 니 기 기	•				新【	土木工事施工管理基準 平原	成30年3月	] 23日	通知】	
出来形管理基 準及び規格値	出来	形管理	里基準	及び規	見格値						出来刑	/管理	基準及	及び規	格値					
P. 2-286	編	章	節	条	枝番	I	種	測定	至項目	規 格 値	編	章	節	条	枝番	工種	測	定項	自	規 格 値
	13 下	2 管 路	7 取	3 ま		公共ます		ます	深 h	±30	13 下水道	2 管 路	7 取付	3 ます		公共ます	ま	すぎ	₩ h	±30
	水道	路	取付管及びます工	3ます設置工							<b>小道</b>	Pii	取付管及びます工	ます設置工						
				1		取付管								4		取付管	7.5*	F	(1)	000
				取付然		取刊官		延長	(L)	-200				取付管布		78.17 [	处	長	(L)	-200
				4取付管布設工										布設工						
			10 立			立坑工		基準	高▽	±30		Ī	10 立			立坑工	基	準高	<b>ā</b> ▽	±30
			立坑工					寸	法 B	±100			立坑工				寸	治	ŧ В	±100
								深	さ h	±30							深	Š	Š h	±30
		3処理場・ポンプ場	5本体仮設工	2 土留・仮締切工		土留・仮締切 (H鋼杭、鋼			高 ▽ 長 L 位	±50 設計値以上 100		3処理場・ポンプ場	5本体仮設工	2土留・仮締切工		土留・仮締切工 (H鋼杭、鋼矢板)			哥 ▽ 長 L 位	±50 設計値以上 ±100
		200										-01								

項目	旧【土木工事法	施工管理基準 平成29年12月】		新【土木工事施工管理基準 平成30年3月23日通知】
出来形管理基 準及び規格値		出来形	管理基準及び規格値 単位:mm	出来形管理基準及び規格値 単位:mm
P. 2-307	測定基準	測定箇所	摘 要	測定基準 測定箇所 摘要
	施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは、1 施工箇所につき 2 ヶ所。			施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは、1 施工箇所につき 2ヶ所。
	1ヶ所/1施工箇所			1ヶ所/1施工箇所
	1ヶ所/1基 基礎1基毎 1ヶ所/1施工箇所	根入れ長 <u></u> <u> </u>		1ヶ所/1基 基礎1基毎  1ヶ所/1施工箇所
	1ヶ所/1施工箇所	W	W   W   W   W   W	1ヶ所/1施工箇所

項目	旧【土木工事	施工管理基準 平成29年12月】		新【土木工事施工行	管理基準 平成30年3月23日通知】	
出来形管理基 準及び規格値		出来刑	ジ管理基準及び規格値 単位:mm		出来形	管理基準及び規格値 単位:mm
P. 2-309	測定基準	測定箇所	摘要	測定基準	測定箇所	摘要
	基礎 1 基毎	W (D)   (D		基礎 1 基毎	W (D) ※ (D) ※ (D) W (D) W (D)	
	基礎 1 基毎	W (D)   E (D)   W (		基礎 1 基毎	W (D)	
	施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは、1施工箇所につき 2ヶ所。			施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは、1 施工箇所につき 2ヶ所。		

項目	旧【土木工事抗	施工管理基準 平成29年12月】		新【土木工事施工管	理基準 平成30年3月23日通知】	
出来形管理基 準及び規格値		出来形質	管理基準及び規格値 単位:mm		出来形質	管理基準及び規格値 単位:mm
P. 2-325	測定基準	測定箇所	摘要	測定基準	測定箇所	摘要
	1基毎	L <b>V</b> 根入れ長 (D)		1基毎	L マ 根入れ長 W (D)	
	施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは、1 施工箇所につき 2 ヶ所。			施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは、1 施工箇所につき 2 ヶ所。		
	1ヶ所1基基礎1基毎	E L		1ヶ所1基基機1基毎	± L	
	1ヶ所/1施工箇所	根入れ長 (D)		1ヶ所/1施工箇所	根入れ長 (D)	
	1ヶ所/1基 基礎1基毎			1ヶ所/1基 基礎1基毎		
	1ヶ所/1施工箇所	型 根入れ長 W (D)		1ヶ所/1施工箇所	世 根入れ長 W (D)	

項目	旧【土木工事旅	五工管理基準 平成29年12月】		新【土木工事施工管	理基準 平成30年3月23日通知】	
出来形管理基 準及び規格値		出来形質	管理基準及び規格値 単位:mm		出来形	管理基準及び規格値 単位:mm
P. 2-337	測定基準	測定箇所	摘 要	測定基準	測定箇所	摘要
	1ヶ所/1施工箇所 - 基礎1基毎 - *標準図をもっている、又は単一断面の - 場合に適用する。			1ヶ所/1施工箇所 基礎1基毎 *標準図をもっている、又は単一断面の 場合に適用する。	2	
	1ヶ所/1基			1ヶ所/1基		
	基礎 1 基毎	根入れ長 W(D)		基礎 1 基毎	根入れ長 W(D)	
	1ヶ所/1基 基礎1基毎			1ヶ所/1基基礎1基毎		
	1ヶ所/1基			1ヶ所/1基		
	基礎 1 基毎	# H		基礎 1 基毎	EH	

項目	旧【土木工事	施工管理基準 平成29年12月】		新【土木工事施〕	工管理基準 平成30年3月23日通知】	
出来形管理基 準及び規格値		出来形	が管理基準及び規格値 単位:mm		出来形	管理基準及び規格値 単位:mm
P. 2-339	測定基準	測定箇所	摘 要	測定基準	測定箇所	摘要
	1ヶ所/1施工箇所			1ヶ所/1施工箇所		
	1ヶ所/1基			1ヶ所/1基		
	基礎 1 基毎	根入れ長 W (D)		基礎 1 基毎	根入れ長 W (D)	
	1ヶ所/1基			1ヶ所/1基		
	基礎 1 基毎	根入れ長 W (D)		基礎 1 基毎	根入れ長 w (D)	
	1ヶ所/1基 基礎1基毎	世 根入れ長 W (D)		1ヶ所/1基 基礎1基毎	型 根入れ長 W (D)	

項目	旧【土木工事旗	施工管理基準 平成29年12月】	421 18 23 75	新【土木工事施工管理基準 平成30年3月23日通知】	
出来形管理基 準及び規格値		出来形質	管理基準及び規格値 単位:mm	出来形管理基準及び規単位	A格値 「:mm
P. 2-357	測定基準	測定箇所	摘要	測定基準 測定箇所 摘 要	
	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所。延長40m (又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。	E W1 W1 W1 W2 W2		施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき 1 ヶ所。延長40m (又は50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 ヶ所。	
	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所。延長40m (又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。			施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所。延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。	
	1ヶ所/1基	根入れ長 W (D)		1ヶ所/1基 根入れ長 (D)	
	1ヶ所/1基 基礎1基毎	型 根入れ長 W (D)		1ヶ所/1基 基礎1基毎 	
	1ヶ所/1基			1ヶ所/1基	

項目				旧【土木工事施工	管理基準 平成29年12月】	저 10 전 원				新【土木工事施工管理	基準 平成30年3月23日通	知】
品質管理基準 及び規格値	品質管	<b>管理基</b>	準及び	規格値			品質管	理基	準及び	規格値		
P. 3-22	工種	種別	試験区分		試験方法	規 格 値	工種	種別	試験 区分	試験項目	試験方法	規格値
	1セメントコンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工	施工後試験	その他	配筋状態及びかぶり	「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」による	司左	1セメントコンクリート (転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工	施工後試験	<b>必</b> 須	配筋状態及びかぶり	「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」による 「微破壊・非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定要領」による	同左
	コンクリート・吹付けコンクリートを除く)			強度測定	「微破壊・非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定要領」による	同左	コンクリート・吹付けコンクリートを除く)		その他	コアによる強度試験	JIS A 1107	設計基準強度

項目	旧【土木工事施工管	管理基準 平成29年12月】	新 旧 刈 忠	新【土木工事施工管理基	基準 平成30年3J	月23日通知】	
品質管理基準		品質管理	基準及び規格値			品質管理	基準及び規格値
及び規格値 P. 3-23	試 験 基 準	摘 要	試験成績表等 による確認	試験基準	摘	要	試験成績表等 による確認
	所定の強度を得られない箇所付近において、原位置のコアを採取。	・コア採取位置、供試体の抜き 取り寸法等の決定に際しては、 設置された鉄筋を損傷させない よう十分な検討を行う。 圧縮強度試験の平均強度が所定 の強度が得られない場合、もし くは1カ所の強度が設計強度の 85%を下回った場合は、監督員 と協議するものとする。 【参考】 [2013 年制定]コンクリート標準 示方書 規準編		「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」による	造物である内空 のボックスカル	断面積25 ㎡以上 バートを対象と 工場製作のプレ	
	「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」による	同左		「微破壊・非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定要領」による	橋梁下部工を対	の橋梁上部工及び け象とする。ただ りプレキャスト製 る。	
	「微破壊・非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定要領」による	同左		所定の強度を得られない箇所付近において、原位置のコアを採取。	取り寸法等の決設置された鉄筋よう十分な検討 圧縮強度試験のの強度が得られては1カ所の強 85%を下回ったと協議するもの 【参考】	を損傷させないを行う。 の平均強度が所定 ない場合、もし 適度が設計強度の 場合は、監督員 とする。	